



サトリの ココロ

国際的視野を持つ若者を育成するために
日蓮宗が開催する「スタディツアー」に
参加した3人にお話を伺う特別編です。



さかいちこう 26歳。2008年、立
正大学仏教学部卒業後、カナダ
留学。2011年より實相寺副住職
に。スタディツアーは2005年(ラオ
ス)と2007年(コルカタ)に参加。

**海外に飛び出すことで
日本の見方や価値観が
大きく変わります**

酒井 これまで「日蓮宗スタ
ディツアー」は8回開催されていま
すが、私が参加したのは2回目
のラオスツアーから。私は20歳で、
最年少でした。

石井 私も酒井さんと同じラオ
スツアーに参加。まだ学生だった
ので、「おもしろそうだな」とい
う軽い気持ちで参加しました。
その後、昨年のカンボジアツア
ーにも参加しました。



日蓮宗實相寺 酒井智康さん
日蓮宗長照寺 石井孝憲さん
日蓮宗成妙寺 兩宮仁美さん

第21回

石井 寝台列車ですよ！
その後、バスでメコン川の壊
れそうな橋を渡って……。
兩宮 そうそう！(笑) 現
地では学校建設のお手伝いを
したのですが、現地の職人さ
んと一緒に朝から夕方まで汗
をかいて……単純でわかりや
すい生活が、逆に新鮮に感じ
ましたね。

酒井 2005年のラオスツア
ーのとき、実は私は海外に行く
のが2回目で、ほぼ初海外のよ
うなもの。どうやって行った
のかも覚えていないくらいで
す(笑)。

**大変な力仕事も
子どもたちの笑顔が力に**

兩宮 私は第1回目のラオスツ
アーから参加しています。大学
時代、タイの経済についての卒論
を書いたこともあり、アジアに興
味があつたからです。



伝いのお手
間の子ども
たちと触れ
合うこと
で、心の交
流が言葉
までは通
じなくても
、笑顔と
思いやり
は万国共
通!

石井 最初は驚きもあつたけど、
充実感があるからだんだん気持
ちよくなってくる。ツラかったの
は、おなかをこわして微熱が続い
たときだけです(笑)。

酒井 行く前は、ラオスは発展
途上国というイメージ。もちろん
貧困という問題は抱えているけ
ど、現地にいる間はそんなこと感
じませんでしたね。日本人が抱
えているしがらみとかが、ちっぽ
けに思えちゃうくらいです。



あめみや・ひとみ 29歳。2004年、
東京国際大学経済学部卒業。IT
企業を経て、現在は医療器メーカ
ーの事務職。2004年(ラオス)以
降、2011年(カンボジア)までに計
6回参加。

**海外での人との交流には
教えられることがたくさん！**

**海外でしか経験できない
大切な何かが見つかる！**
酒井 機会があれば、また参加
したいですね。このツアーでの経
験は、将来の自分の選択肢を広

石井 日本に比べて物質的な貧
しさはあるかもしれないけれど、
子どもたちはみんな笑顔ですか
らね。子どもの人なつこさややさ
しさに、むしろ私たちのほうが
励まされたくらいです。



兩宮 子どもたちが作業を手伝
ってくれたり、休憩時間に遊んだ
り。そういう交流が楽しくて、何
度も参加しちゃうんです。

酒井 機会があれば、また参加
したいですね。このツアーでの経
験は、将来の自分の選択肢を広
げてくれたと
思うので。
兩宮 現地の
子どもたちを
思うと、「私
もがんばらな
くちやー!」つ
て。1年間の
自分の力にな
るんですよ。
石井 私も元
氣をもらって
帰ってきますし
た。前向きになつたと感じます。

酒井 海外に行くことと日本の見え
方も変わってきますよね。だから
今の若い人たちが海外に行かな
いのももったいない!